

2025 年 6 月 17 日
ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

ブリストル マイヤーズ スクイブ
がん研究の促進とがん患者さん支援のための **C2C4C** 募金活動を開始

ブリストル マイヤーズ スクイブは、がん研究の促進とがん患者さんとそのご家族を支援するためのチャリティバイク（自転車）イベント「Continent 2 Continent 4 Cancer」（C2C4C）を世界規模で実施しています。日本で 5 回目の開催となる今年は、アジア太平洋地域の 6 カ国から約 60 名の社員が参加し、10 月 7 日（火）から 21 日（火）までの 15 日間、がんと闘う患者さんへの想いを胸に、日本各地（約 1,800 キロ）をリレー形式で走り抜けます。このチャリティバイクイベントとともに全社、そして社会を巻き込みながら支援の輪を広げるべく、6 月 16 日（月）から 11 月 4 日（火）の期間で、国際がん連合（UICC）と連携する各地域の患者団体に寄附する募金活動を行います。日本の社員によるライドチームが集めた募金とブリストル マイヤーズ スクイブからの寄付金を合わせた総額は、認定 NPO 法人「マギーズ東京」に支援金として届けられます。



寄付サイト：https://fnd.us/e2Xeic?ref=sh_eEAr75



C2C4C チャリティライドは 12 年前に米国の有志の社員によって始まり、その後、欧州に広がり、5 年前から日本でも開始しました。2022 年からはラテンアメリカも加わりました。2021 年以来、C2C4C ライドを通じてアジア太平洋地域の慈善団体に 55 万ドル以上が寄付されています。

今年は、日本、オーストラリア、中国、インド、韓国、シンガポール、米国から合計 60 名の社員が参加予定で、これまで以上に多様で包括的な活動となります。

ブリストル マイヤーズ スクイブでは、C2C4C のライドと募金を通して、全社員が一体となり、がんに影響を受けるすべての人々に貢献できる機会を提供しています。私たちは、今後ともがんに向き合う人々に寄り添い、より良い未来を共に築くための活動を続けてまいります

C2C4C について

「C2C4C」は、米国では Coast 2 Coast 4 Cancer（海岸から海岸へ、がんを乗り越えるために）、欧州では Country 2 Country 4 Cancer（国から国へ、がんを乗り越えるために）、日本とラテンアメリカでは Continent 2 Continent 4 Cancer（大陸から大陸へ、がんを乗り越えるために）を意味します。C2C4C は 2014 年、がん研究に携わる米国社員が、「がんと向き合う人たちにもっと何かをしなければ」と強く感じたことから始まりました。現在、世界中の C2C4C に 30 を超える国々から何百人もの社員が参加しています。ライダーは厳しいトレーニングと募金活動に取り組み、がん患者さんやがんで苦しむあらゆる人々のことを胸に刻みながらペダルを漕ぎます。

ブリストルマイヤーズスクイブについて

ブリストルマイヤーズスクイブは、深刻な病気を抱える患者さんを助けるための革新的な医薬品を開発し、提供することを使命とするグローバルバイオフーマ企業です。詳細は、bms.com/jp、[LinkedIn](#)、[Facebook](#)、[YouTube](#)、[Instagram](#) をご覧ください。

マギーズ東京について

ブリストルマイヤーズスクイブは、C2C4C を通じて、がん患者やその家族の闘病生活を支援する [マギーズ東京](#) を応援しています。

マギーズ東京は、がんを経験した人とその家族や友人など、がんに影響を受けるすべての人が、とまどい孤独なとき利用できる場所です。がんの種類や旅路にかかわらず、どなたでもご利用いただけます。すべてのサポートは無料で、予約や紹介は必要ありません。病院でも自宅でもない、第二の我が家のような空間で、がんのことに詳しい看護師や心理士とお茶を飲みながらお話ししたり、グループプログラムに参加したり、静かなスペースでご自身の時間を過ごすことで、再び自分の力を取り戻す一歩を一緒に探します。

マギーズ東京の活動は多くの方のチャリティ（寄附や協力）に支えられています。また、マギーズ東京は「マギーズがんケアセンター国際ネットワーク」の正式メンバーです。

国際がん連合 (UICC) について

[国際がん連合 \(UICC\)](#) は、がんとの闘いに専念する最大のグローバル会員組織です。1933 年にジュネーブで設立され、172 カ国に約 1,180 の会員組織があります。UICC の使命は、世界的ながん負担を軽減し、より大きな公平性を促進し、がん対策が世界の健康と開発の優先事項であり続けるようにするために、がんコミュニティを団結させ、支援することです。